

令和7年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課

課題名④		ぶどう産地の維持拡大(始良)				
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	7				
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	7				
活動体制・ 活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	5	2		④研修の企画, 実施がよくなされている。	
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は適切であるか	6	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	7				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6	1			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	6	1		②生産者へわかりやすく伝えられていると思う。 ②今後続ける技術の一つになると思います。	
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	6	1			
全体的な意見・提言		①富士の輝が今後どのように普及していくのか数年後にまた確認したいです。②全ての農家を実施できると素晴らしい商品がそろいそうですが、労力や資金から取り残される方もいます。しかし、そこは農家同士の助の心でまかなえればと思います。今後も新技術、新品種の案内よろしく願います。 ③果樹産地維持のためにもどんどん取り組んでください。 ④品質向上への取組で色々な面で比較がなされてよかった。 ⑤品種の比較、アンケートの実施等有効的な活動がなされている。担い手確保に向けて、長期的スタンスでの品種選定につながると思います。 ⑦各色の品種の課題に向き合っていてよいと思った。				

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課

課題名④ ぶどう産地の維持拡大(始良)							
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等	
		適当	概ね 適当	要 改善			
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	5	1		③地域や生産者の説明が明確だった		
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	5	1				
活動体制・ 活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	5	2				
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3	3				
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	6					
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6					
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	3	3				
活動の 波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	6			④実証効果が認められているので、地域全体に普及してください。	果樹部会等の研修会等で成果について、情報提供していきます。	
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	4				

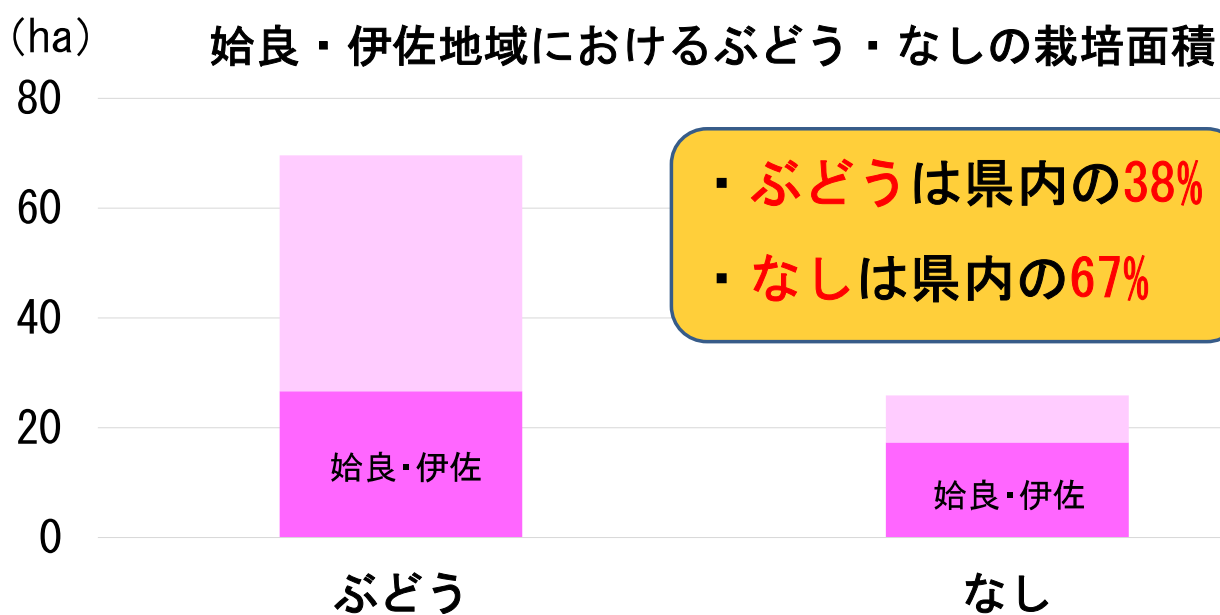


地域の特性を生かした園芸産地づくり(果樹)

～ぶどう産地の維持拡大～

始良・伊佐地域振興局農政普及課園芸普係

課題を取り巻く背景



県下有数のぶどう, なしの産地であり, 溝辺地区・国分地区を中心に**ぶどう+なし**を主体とした**観光農園経営(直売主体)**で大規模な経営体が多い。

課題を取り巻く背景

【系統分類と主要品種】



黒系

- ・巨峰
- ・ピオーネ



赤系

- ・クイーンニーナ
- ・安芸クイーン

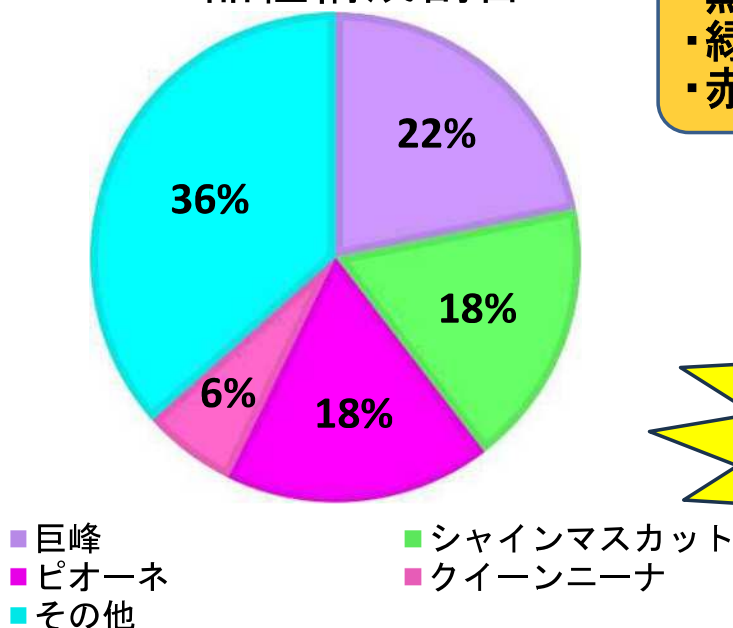


緑系

- ・シャインマスカット
- ・翠峰

課題を取り巻く背景

品種構成割合



- ・黒系(巨峰・ピオーネ)
- ・緑系(シャインマスカット)
- ・赤系(クイーンニーナ)

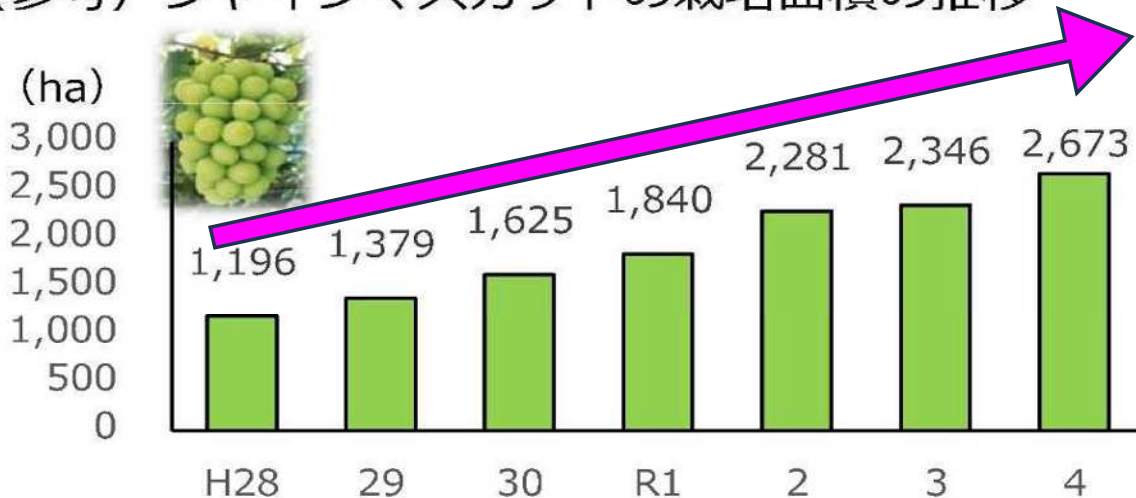


過半数占める！

シャインマスカットやクイーンニーナ等の近年育成された種々の品種が導入されている

課題を取り巻く背景

(参考) シャインマスカットの栽培面積の推移



資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

令和3、4年については調査対象が主産県のため、連続性はない

出典：農水省HP(果樹をめぐる情勢(令和7年11月))

シャインマスカットは**全国的に増加傾向**で、地区内でもこの数年で飛躍的に増加した品種

課題

- 主力品種である**シャインマスカットの**
高品質果実の安定生産
- 近年の気候変動の影響により、**黒系・**
赤系品種では着色不良等の課題が常態化
- 持続可能な**観光農園経営**の継続
 - 国内外におけるシャインマスカット増加に伴う経営への懸念
 - 今後、**新たな優良品種検討・導入**も必要

対象・課題解決のための方策

1 対象

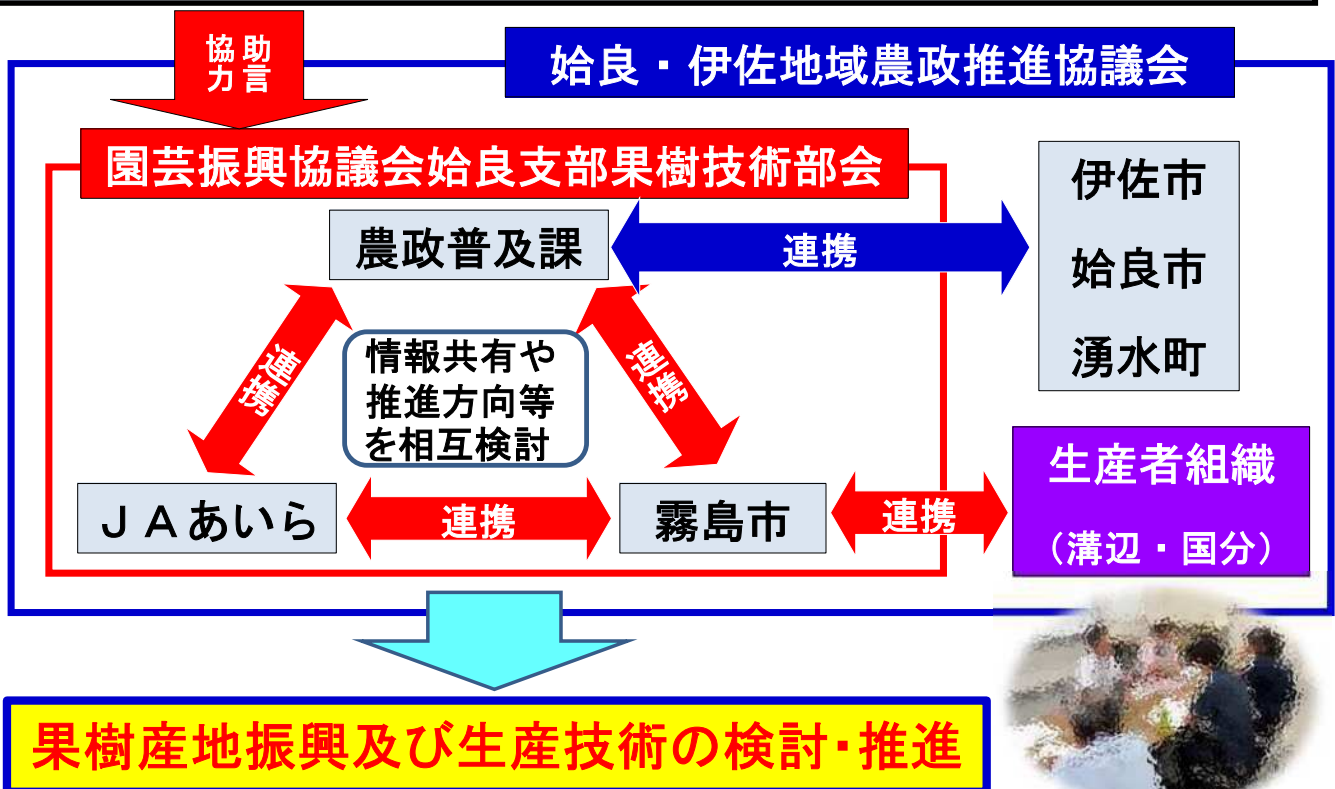
- ・溝辺町観光農園果樹部会 14戸
- ・国分観光農業振興会 7戸
- ・管内果樹(ぶどう・なし)生産者 6戸
(牧園, 福山, 湧水, 蒲生, 伊佐)

2 方策

- (1) 優良品種の栽培管理技術の普及による生産性向上(シャインマスカット等)
- (2) 気候変動に対応した栽培技術の検討・普及
(黒系・赤系を中心とした巨峰系4倍体品種等)
- (3) 新品種の特性や現地適応性の把握・検証
(シャインマスカットに続く優良品種の導入等)

活動体制

県園芸振興協議会 (農産園芸課, 農業開発総合センター, 経済連)



シャインマスカットの品質向上 (果粒肥大促進)

【ジベレリン処理時にフルメット液剤を加用】

区	フルメット液剤の加用	
	1回目	2回目
慣行区	5ppm	無し
実証区①		5ppm
実証区②		10ppm

(参考) ジベレリン処理 (ジベ処理) の目的と実施日

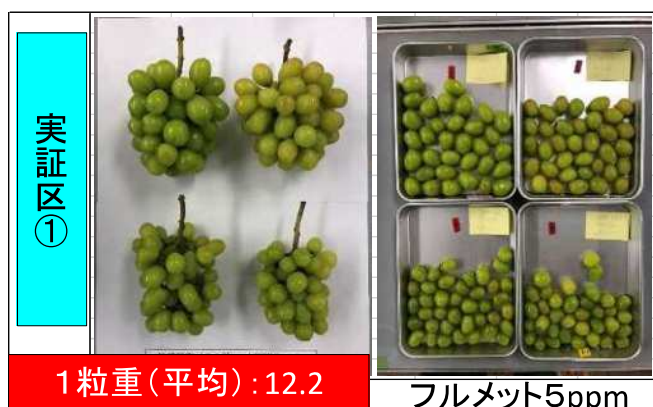
回数	目的	実施日
1回目	無種子化 (種抜き)	4月28日
2回目	果粒肥大促進	5月10日

シャインマスカットの品質向上 (果粒肥大促進)

【各区の収穫期果実(上段:調査樹1, 下段:調査樹2)】

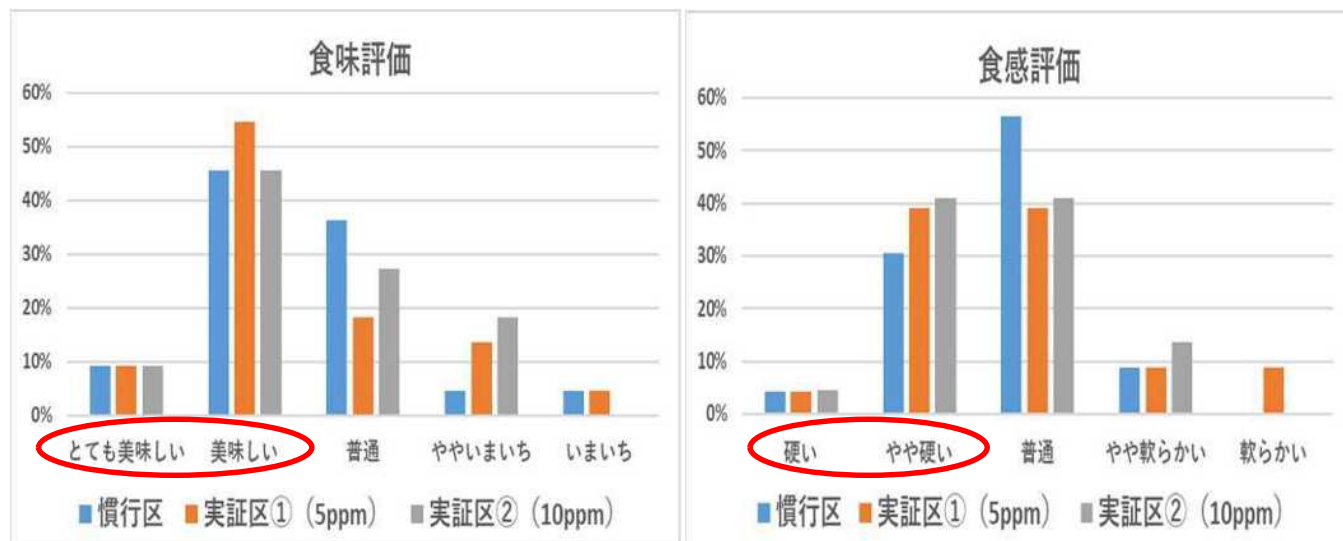


2回目のジベレリン
処理時にもフルメッ
ト加用で果粒肥大
傾向あり!



シャインマスカットの品質向上 (果粒肥大促進)

食味・食感アンケート(22名回答)



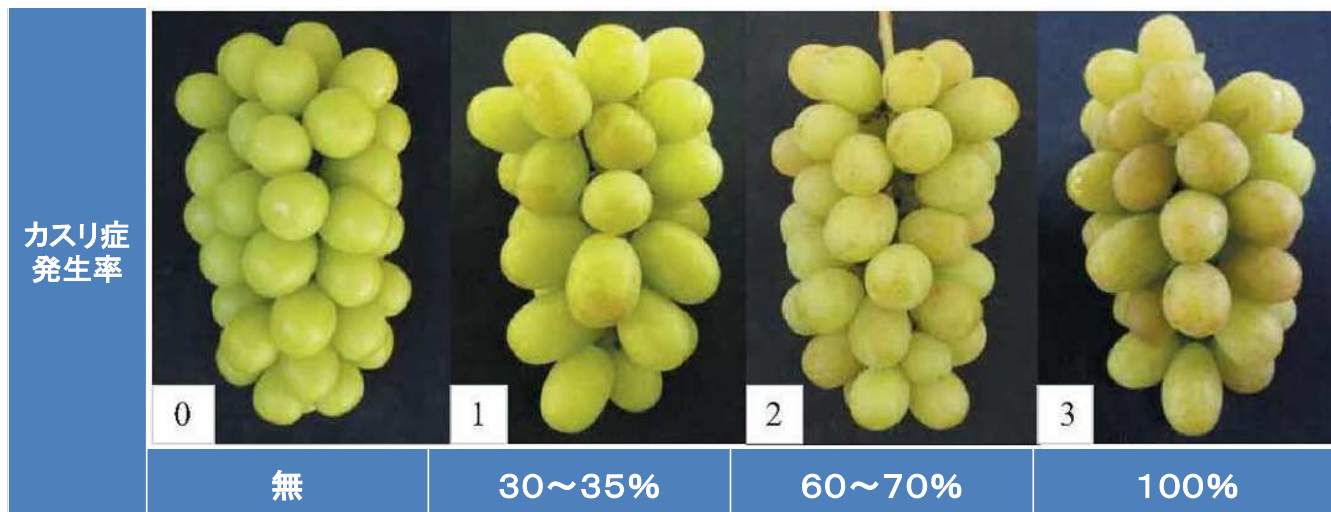
○食味：ほぼ**同等**

○食感：**やや硬い傾向**だが、食するには大きな影響なし

シャインマスカットの品質向上 (生理障害(カスリ症)軽減)

生理障害(カスリ症)

- ・果皮に**茶褐色の汚損**が発生し、外観品質を損なう
- ・満開75日～80日後頃から発生し、**成熟が進むと増加**
- ・果皮中の**カルシウム含有率が低い**と発生**多**



シャインマスカットの品質向上 (生理障害(カスリ症)軽減)

- (1) 品種 シャインマスカット(ハウス栽培)
- (2) 実証場所 霧島市国分
- (3) 区の設定(供試樹1本(H型)2主枝×2区)
 - ・慣行区 無散布
 - ・実証区 展葉期～袋掛け前にカルシウム資材
(バイカルティ)1,000倍を葉面散布(3回)

【散布時期】

落果期 (5/16)

小豆大 (5/30)

袋掛け前 (6/13)



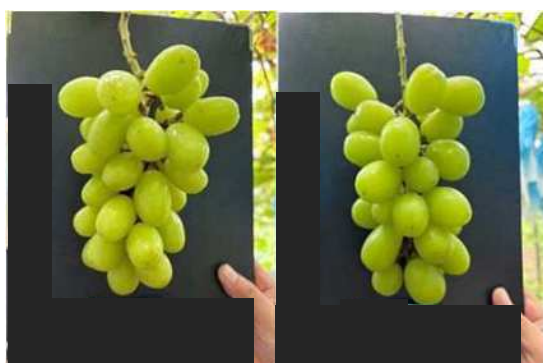
シャインマスカットの品質向上 (生理障害(カスリ症)軽減)

【R7: バイカルティ(Ca資材)の葉面散布効果】

区	処理区		無処理区	
調査日 (満開後日数)	8月19日 (95日)	8月27日 (103日)	8月19日 (95日)	8月27日 (103日)
発生程度	0.49	1.15	2.16	2.60

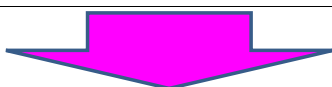
※発生程度: 各区10房調査の平均値

8月27日
調査時の
各区の房



成果の要約

- (1) フルメット液剤による果粒肥大促進効果を確認。食感(果粒の硬さ)は大きな問題になるレベルではなかった。
- (2) カルシウム資材の活用は、「カスリ症」軽減に有効であると考えられた。



安定生産や品質向上で**所得向上**に期待！



今後、果粒肥大促進や商品性の高いシャインマスカットの生産技術として提案・普及！

気候変動に対応した栽培技術 (着色向上対策)

【着色不良改善技術】

環状剥皮



植調剤の利用
(新技術)



又は

気候変動に対応した栽培技術 (着色向上対策)

アブサップ液剤

(天然物由来の植物成長調整剤)

有効成分の**アブシシン酸** 10%が色素成分
「**アントシアニン**」の生成を促進!



【効果】 **ブドウ果皮の着色を向上**

※米国, 豪州など海外でも, ブドウ果皮
の着色向上目的で販売。

【農薬登録】

令和4年10月に「巨峰」「ピオーネ」で
登録後, 令和7年3月に「巨峰系4倍体
品種」に適用拡大



気候変動に対応した栽培技術 (黒系品種の着色向上)

(1) 品種 ピオーネ (ハウス栽培)

(2) 実証場所 霧島市溝辺

(3) 栽培概要・処理時期

・ジベレリン処理 (1回処理)

5月13日 GA25ppm + フルメット 5ppm

・**アブサップ液剤処理: 令和6年7月3日**
(着色開始10日頃)

※袋かけしている房の袋を外して処理し,
乾いてから再度袋掛け

(4) 区の設定 (主枝単位で実施)

・慣行区 アブサップ無処理

・処理区① アブサップ100倍, 5ml

・処理区② アブサップ100倍, 4ml

・処理区③ アブサップ100倍, 2ml



ハンドスプレー



電動スプレーガン

ハンドスプレー

電動スプレーガン

電動スプレーガン

気候変動に対応した栽培技術 (黒系品種の着色向上対策)

【各区の収穫期果実】

(果実調査日: 令和6年8月8日)



無処理区
【果皮色: 6.1】



処理区① (ハンドスプレー: 5ml)
【果皮色: 10.5】



処理区① (電動スプレーガン: 4ml)
【果皮色: 10.6】



処理区① (電動スプレーガン: 2ml)
【果皮色: 9.1】

気候変動に対応した栽培技術 (黒系品種の着色向上)

【処理区毎の処理時及び収穫時の果実】

着色始期の果房



処理時(7/3)

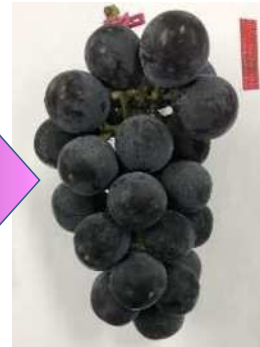


収穫時(8/8)

着色開始10日頃の果房



処理時(7/3)



収穫時(8/8)

アブサップ液剤の使用タイミングは、**着色始期～着色開始2週間後**であれば**収穫時の着色効果に影響なし**

気候変動に対応した栽培技術 (赤系品種の着色向上)

(1) 品種 クイーンニーナ (トンネル栽培)

(2) 実証場所 霧島市溝辺

(3) 栽培概要・処理時期

- ・ジベレリン処理 (1回処理)

5月27日 GA 25ppm + フルメット 5ppm

- ・アブサップ液剤処理: 7月23日
(着色開始2~3日頃)

※袋かけしている房の袋を外して処理し、
乾いてから再度袋掛け

(4) 区の設定 (主枝単位で実施)

- ・無処理区 アブサップ無散布

- ・200倍処理区 アブサップ200倍, 5~10ml 散布

- ・100倍処理区 アブサップ100倍, 5~10ml 散布



処理時の果房



散布器具
(ハndsプレー)

気候変動に対応した栽培技術 (赤系品種の着色向上)

【各区の収穫期果実】



無処理区 【果皮色: 0.6】



200倍処理区 【果皮色: 4.5】



100倍処理区 【果皮色: 5.0】

※環状剥皮の実施無し

(果実調査日: 令和7年8月18日)

成果の要約

- (1) 着色系ぶどうの着色不良の改善策として
植調剤(アブサップ液剤)利用は効果的
- (2) 使用時期は、着色始期～着色開始2週間
以内であれば効果は安定的



・R7から栽培・防除暦に掲載し、普及開始
(利用農家率 R5:9%→R7:46%)

【利用農家の声】

🎤 着色不良改善により出荷ロスの減少
→需要期の盆前出荷率も向上(所得向上)

優良品種情報収集
(県内外産地の先進事例調査・研修の企画・実施)



県農開C果樹・花き部(R6)



宮崎県現地(R7)

優良品種現地適応性 (シャインマスカットを親にもつ黒系品種の特性把握)

- 1 品種 **黒系新品種**
- 2 作型 無加温ハウス（霧島市国分）
- 3 栽培概要（発芽期～収穫期）
 - ・ G A 処理時期・濃度
 - 1 回目：5 月12日 G A 25ppm, フルメット 5 ppm
 - 2 回目：5 月27日 G A 25ppm
 - ・ 摘芯方法：最初は房先 3～4 枚, その後, 腰高付近
 - ・ フラスター液剤：新梢展開葉 8～9 枚頃に使用

生育相	時期
発芽期	4月4日
満開日	5月10日
着色始め	7月15日
収穫始め	9月15日
収穫終了	10月10日



優良品種現地適応性 (シャインマスカットを親にもつ黒系品種の特性把握)

黒系新品種



1果粒重 15.3g

糖度(BX) 21.0%

酒石酸 0.34(g/100ml)

シャインマスカット



1果粒重 9.7g

糖度(BX) 20.8%

酒石酸 0.36(g/100ml)

(果実調査日:令和7年9月17日)

優良品種現地適応性 (シャインマスカットを親にもつ黒系品種の特性把握)

【調査協力農家からの聞き取り結果】

- ・ **強樹勢**で花芽を持ちにくい
→芽飛びしやすいため、返し枝の利用で花芽確保
- ・ **果粒肥大旺盛**
→摘粒は速やかに実施する必要がある
- ・ **葉が大きい**
→縮果症は発生しにくいが裂果は発生しやすい
→水管理徹底が重要

希少性の高い新品種であるが、単年度の評価では不十分
→現地適応性や栽培方法等は、複数年の調査が必要！

優良品種現地適応性 (シャインマスカットを親にもつ黒系品種の特性把握)

【官能評価結果（令和7年9月18日実施）】

区分	属性	回答概要	
香 り	マスカット様香(モノテルペン様)	シャインマスカットよりやや弱い	
	熟度香(甘熟・蜜様)	シャインマスカットよりやや弱い	
	青臭・草様	シャインマスカットよりやや弱い	
	発酵／不快臭(欠点)	シャインマスカットと同等	
味 ・ 口 中	甘味の強さ	シャインマスカットよりやや弱い	
	酸味の強さ	シャインマスカットと同等	
	渋み／えぐみ(口渋)	シャインマスカットと同等	
	果汁感(ジューシーさ)	シャインマスカットよりやや強い	
	皮の口離れの良さ(実離れ)	シャインマスカットと同等	
	皮の硬さ(口中での存在感)	シャインマスカットよりやや強い	
	皮ごと食べれる	シャインマスカットと同等	
	果肉の締まり(プリツと感)	シャインマスカットと同等	
後 味	余韻の長さ	シャインマスカットよりやや強い	
	後味のキレ(ベタつきの少なさ)	シャインマスカットと同等	
	えぐみ持続(欠点)	シャインマスカットと同等	

【回答者数 25名】

○性別内訳
・男性 19名
・女性 6名

○年代内訳
・20代 2名
・30代 5名
・40代 0名
・50代 13名
・60代 5名

大多数がシャインマスカットと同等の評価するも、**香りがやや弱く**、「**果汁感**」，「**皮の硬さ**」，「**余韻の長さ**」がやや強い

成果の要約

- (1) 黒系新品種は、シャインマスカットより**大粒**で、**果実品質は同等以上**が判明
- (2) 官能評価の結果、食味的には「**果汁感**」や「**皮の硬さ**」,「**余韻の長さ**」に特徴あり

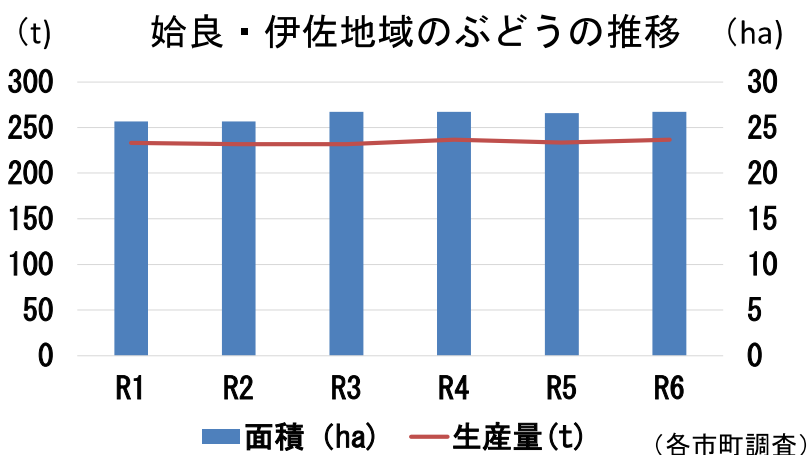


継続的な有望品種の現地データ蓄積及び
現地適応性の検証



レア品種販売の強み発揮(集客力・所得向上)

成果の波及



各観光農園部会組織と連携し、得られた**実証データ等**は各種研修会を通じて**フィードバック**



生産者の新技術等への積極的な取組により、令和以降、**面積・生産量は横ばい傾向**

今後の課題と対応

- (1) シャインマスカットの**高品質果実の安定生産**技術検討・確立
- (2) **気候変動に対応**したぶどうの安定生産技術の継続的な検討・構築
- (3) シャインマスカットに次ぐ**有望品種**（特に黒系・赤系）の模索・導入
- (4) **担い手確保・育成及び持続可能な観光農園経営**に向けた継続的な支援

